



個人の努力、集団の絆を大切に

校長 寺井 進一郎

2月から3月にかけて、3年生の受験期になると思い出すこと（記憶）があります。今から30数年前、私が教員となって初めて中学校3年生の担任を受け持った年、その3学期の話です。当時は、現在は会場テストとなっている業者テスト（いわゆる北辰テスト）が学校で行われていました。中学生は皆、学校で業者テストを受け、その結果、答案とともに偏差値が返って来て、そのデータを基に担任教師は進路指導を行っていたのです（今では考えられませんが）。その後、国や県の考え方が変わったため、業者テストは学校外で行われることになりました。

そんな時代の3年生の3学期（2月）でした。公立高校の受験直前に最後の業者テストがあり、その結果の個票を、帰りの会で自分の学級の生徒に返していた時のことです。いつも、笑顔を絶やさず、健康的で、明るく朗らかで、絵に描いたような頑張り屋、典型的な努力家の女の子がいました。私の学級は、毎日、自主学习帳として、大学ノートに1ページ以上、勉強してくることが約束事になっていました。この子は、100ページの大学ノートを、3日間くらいで書き終わるようなペースで毎日、提出し続けるのです。その努力は感動ものでした。勉強ばかりかというところでもなくて、困っている仲間がいたら、とにかく自分にできる限りのことをして、その子を助ける、それはそれは思いやりの深い生徒でした。他の子が嫌がって成り手のいない役などは、クラスのために進んで引き受ける、そんな子をイメージしてもらえればいいと思います。

話を元に戻しましょう。私がテストの結果を全員に返し終わり、受験に向けて励ましの言葉を掛けていると、一人だけ顔を上げられない生徒がいました。彼女です。いつも満面の笑みを浮かべて、皆に元気を与えてくれる彼女でした。何とか担任の話を聴こうとしているのですが、どうしても顔を上げることができません。その時、初めて、私も、周りの生徒も、彼女の涙を見たのです。帰りの会の後、彼女を呼んで話を聞きました。「志望校を目指して頑張ってきたけれど、ここへ来て成績が落ちてきて受かる気がしない」ということでした。私は1年間、彼女を見てきましたが、確かに本人は、そう言うだけの努力をしてきたと言える子でした。それなのに、テストの結果に結び付かない、その悔しさ・悲しさはよく理解できました。私は、担任として「何とかしたい」と思い、自主学习帳の内容に応じて各教科のアドバイスをするなどして、とにかく励まし続けました。クラスの他の生徒も、どういうことか、自分たちの受験も大変なはずなのに、彼女に元気な声を掛け始めました。私たちは、皆、いつもクラス全体のことを取って自分を後回しにするような、優しい彼女の存在に感謝していたのです。毎日、毎日、皆が彼女に声を掛け、励ましました。何のことはない「おはよー、ガンバローね、またね」って、言う位のことですが。男子も女子もなく、全員が彼女に声を掛け、励まし続けます。そうしたら、日に日に落ち込んでいた彼女の姿が変わっていったのです。毎晩遅くまでやっているのでしょう、女の子が寝癖を気にもせず、獲物を追うような目付きをしていることから、一心不乱に勉強していることがよく解りました。そして、だんだん彼女の表情に、以前の笑顔が戻ってきたのです。クラスにも明るさ・活気が出てきました。そうして迎えた2月下旬、全員の高校受験が終了します。受験を終えて報告に来た彼女の言葉です。「もう、結果はどうでもいいです。とにかくやり切りました。みんなのおかげです！」と、強く言い切る姿は、非常に凛々しく、笑顔で溢れていました。振り返ってみれば、元々は学校生活の中での彼女個人の努力でした。思いやりある行動でした。それが1学期から学級をずっと助けてきました。そして3学期、そんな彼女がピンチに立たされたとき、それまで彼女に助けられてきた学級が、仲間が、彼女を助け返しました。一人の生徒の普段の行動が集団を動かし、これが回りまわって返って来て、自分自身を助けたことになりました。

ちょっと前のテレビで、「受験も一人じゃない、チームだ」というニュアンスのコマーシャルがありました。一理あるかもしれません。個人の努力も、集団の絆も、とつても大切なことなのだと、若かった私に教えてくれたクラスでした。彼らとの出会いに、今でも感謝をしています。

（令和4年2月8日（火）全校朝会（校長講話）から抜粋、文体修正）

「まん延防止等重点措置」の延長と卒業・進級期

1月21日に埼玉県全域に発出された「まん延防止等重点措置」。期限は2月13日とされていましたが、感染拡大の勢いは衰えず、3月6日まで延長となりました。「新型コロナウイルス感染症」については、相変わらず不透明な状況が続いています。全体的に感染予防・拡大防止についての学校の対応はこれまでどおりですが、受験・卒業期を迎えた3学年については、市内3中学校とも午前中のみ、給食後に下校の措置を取っています。3年生は、既に県公立高等学校の受験は終了し、卒業期の取組に入ったところですが、様々な制限がある中ですが、3月15日(火)の卒業式までの中学校生活を謳歌してくれることを願っています。1・2年生についても、集団活動にかなりの制限がある中、3日(木)に行われる「三年生を送る会」の準備を進めてくれています。



実行委員の話し合い

県公立高等学校入学者選抜、定期テスト

2月24日(木)、25日(金)に、3学年は埼玉県公立高等学校入学者選抜を迎えました。3年生は皆、この正念場を頑張りきってくれたことと確信しています。また、1・2学年は、年度最後の定期テスト(第4回)を実施しました。3年生同様、解答に向かう懸命な姿が見られました。



定期テスト(第4回)

冬季オリンピック北京大会



子供の頃に見たオリンピックというものは、とても印象が強く、大人になっても記憶に残るものです。2月2日～20日を期間として開催された「冬季オリンピック北京大会2022」。多くのアスリートが競技種目の中で最大限のパフォーマンスを見せてくれました。勉強や部活動に取り組む中学生の皆さんにも夢・希望を与えてくれるシーンがあったのではないのでしょうか。どうしても自国の選手を中心に見入ってしまいがちですが、今回は全体的に、より高い目標(高難度の技)にチャレンジすること、規則や判定などを遵守(ルールを守り、かつ、不利な判定・規則に屈しない)しながら本番に臨むこと、偶発的な不運(氷上の穴、雪上の風向き…)に負けないことなど、選手の皆さんが直面する競技の厳しさ・難しさを実感した大会であったと思います。逆境や突発的な出来事も想定しながら自身の目標に向かっていく世界のトップの姿を見せてもらった気がします。皆さんの目、そして心には何が残ったのでしょうか。

3月の行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	火	表彰朝会 まん延防止等重点措置(短縮日課)	17	木	短縮日課
2	水	木曜時間割(変則)卒業式練習 三年生を送る会準備	18	金	特別日課 球技大会(2学年) 期末保護者会(1・2学年)
3	木	金曜時間割(変則)三年生を送る会	19	土	
4	金	水曜時間割 県公立高校入学許可候補者発表	20	日	
5	土		21	月	春分の日
6	日		22	火	短縮日課 給食終了(1・2学年)
7	月	県公立高校入学試験追検査	23	水	特別日課 球技大会(1学年)
8	火	球技大会(3学年) 給食終了(3学年)	24	木	特別日課 表彰朝会(1・2学年) 大掃除
9	水	短縮日課 安全の日 卒業式予行	25	金	修了式
10	木	生徒会専門委員会・ノーメディアデー 短縮日課	26	土	学年末休業日
11	金	短縮日課	27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月	短縮日課 卒業式準備	30	水	
15	火	卒業証書授与式(3学年・午前) 1・2学年午後登校	31	木	
16	水	短縮日課			

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更する場合がございます